

ワイドアングルで見る釜山 展望台② 影島

## 伝説残る影島を眺めよう 活力あふれる昼間の風景 天の川のように輝く夜景



釜山の人気スポットである「影島」の風景を鑑賞するには、ヒンヨウル文化村近くの「影島ハナル展望台」と、釜山港を見渡せる「青鶴配水池展望台」がおすすめ①青鶴配水池展望台の風景②影島ハナル展望台③青鶴配水池展望台から見える夜景

最近、国内観光客の間で人気を集めている釜山の島がある。釜山港周辺から影島大橋でつながる島、「影島（ヨンド）」だ。奇岩絶壁の上に建てられた色とりどりのマウル（村）や、無数の大型コンテナが積載された釜山港、釜山沖に架かる釜山港大橋が一望できる美しい絶景スポットなどがある。影島には人気の名所がたくさんあり、このような絶景を眺めるのに最適な展望台が、影島の中心にある蓬萊山（ポンネサン）の北側と南側に一つずつ設置されている。

### ■昼の風景を楽しむ影島ハナル展望台

蓬萊山の南側、影島ヒンヨウル文化村近くにある「影島ハナル展望台」は、昼間の影島の風景を眺めるのに適した展望台だ。展望台には、床が透明なスカイウォークや、高倍率の双眼鏡が備えられている。展望台の先端に進むと、海の景色が一面に広がる。視界を遮るものが一つもなく、開放感がある。右側には多大浦（タデポ）と加徳島（カドクド）、左側には巨済島（コジェド）を見渡すことができ、天気の良い日には約50キロ離れた対馬まで見える。

広い海の上で、巨大な船舶が行き交う姿も見どころだ。影島ハナル展望台に面した海は錨泊地となっており、釜山港に入ってくる船舶がイカリを下ろして停泊する場所でもある。

影島ハナル展望台は、影島の観光名所とつながっている。展望台の横には階段があり、下へ降りて行くと「絶景海岸散策路」に到着する。全長約3キロの散歩道で、くねくねと曲がったコースや吊り橋などがあり、ウォーキングを楽しめる。散歩道は、美しい水平線や奇岩絶壁をはじめ見どころが満載だ。

展望台から歩いて5分ほどの距離にある「75広場」も必ず訪れるべき名所だ。この広場が1975年に完成したことから、「75広場」と呼ばれるようになった。静かな雰囲気や休憩するのにぴったりな場所だ。

- 住所：釜山広域市影島区東三洞628-66
- 営業時間：年中無休
- 利用料金：無料
- 行き方：都市鉄道1号線南浦駅6番出口→中区観光案内所横のバス停留所から7,71,508番のいずれかのバスに乗り→ハムジゴル修練院で下車



▲NAVERマップ

### ■夜景が綺麗な青鶴配水池展望台

釜山港は、2021年基準で世界6位の物流量を誇る。昨年だけでも2200万TEU（1TEUは20フィートコンテナ1個分）規模の物流を扱った。港で多く見られる20フィートのコンテナ2200万個が釜山港を通過したということになる。

「青鶴（チョンハク）配水池展望台」は、釜山産業のエネルギーを目の当たりにできる名所だ。

前方には戡蛮（カンマン）埠頭、左側には釜山港と釜山港大橋が見渡せる。また、この場所では、港を行き来する多くの船舶の行列も観察できる。コンテナ船、バージ船、牽引船、漁船など、さまざまな種類の船舶がせわしなく動く姿からは生命力まで感じられる。

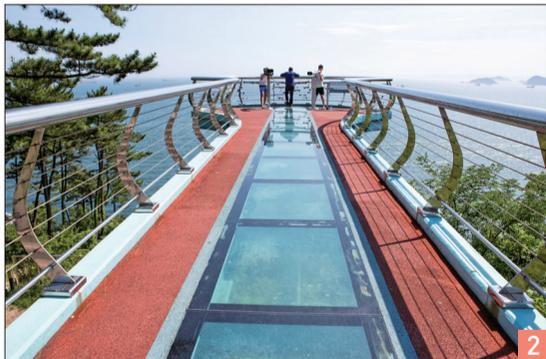
夜になると、この場所の景色はさらに魅力的になる。釜山港大橋では、LEDのライトアップで華やかな色合いに変わり、埠頭ではオレンジ色のライトがまるで花のように輝く。

青鶴配水池展望台には、馬と農夫の像が設置されている。影島の歴史を表現した造形物だ。新羅時代から朝鮮時代までの間、影島には国営の馬小屋があったことに由来する。農夫像はさつまいもを背負っている。これは1763年に、朝鮮通信使によって対馬から影島にさつまいもが伝わったという歴史を記念している。

- 住所：釜山広域市影島区ワチ路36
- 営業時間：年中無休
- 利用料金：無料
- 行き方：都市鉄道1号線南浦駅6番出口→中区観光案内所前のバス停留所から9番バスに乗り→旧ヘサゴで下車



▲NAVERマップ



2



3